

製品名: TFAP2B マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81865

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50.5kDa

抗原情報

遺伝子名	TFAP2B
別名	PDA2; AP-2B; AP2-B
遺伝子 ID	7021.0
SwissProt ID	Q92481
免疫原	大腸菌で発現したヒト TFAP2B (AA: 84-193) の精製された組み換え断片。

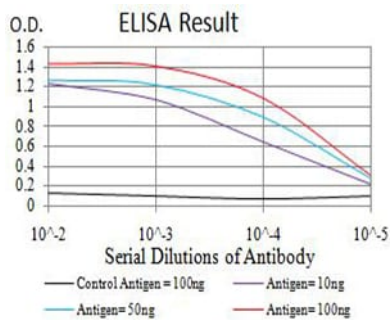
背景

この遺伝子は、転写因子 AP-2 ファミリーのメンバーをコードしています。AP-2 タンパク質は、他の AP-2 ファミリーメンバーとホモまたはヘテロ二量体を形成し、特定の DNA 配列に結合します。胚発生において、特定の細胞種の細胞増殖を刺激し、終末分化を抑

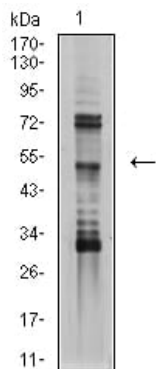
制すると考えられています。AP-2ファミリーのメンバーはそれぞれ、発現パターンやプロモーターへの結合親和性が異なります。このタンパク質は転写活性化因子としても抑制因子としても機能します。この遺伝子の変異は常染色体優性遺伝性の Char 症候群を引き起こすことから、この遺伝子は神経堤細胞分化において機能していることが示唆されています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



SK-N-SH (1) 細胞溶解物に対する TFAP2B マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。